

## 2026年度 山口県社会人サッカーリーグ要項

### 1 目 的

- (1) サッカーを通じて体力と人格の向上を期するとともに、そこに集うサッカーをこよなく愛するチーム及び選手、チーム役員の交流と親睦を図る。併せて山口県でのサッカーの普及発展に寄与することを目的とする。また、公益財団法人日本サッカー協会（以下「日本サッカー協会」という。）が提唱する、フェアプレーの精神・行動規範に則り、サッカーファミリーとして行動する。
- (2) 中国地域県サッカーリーグ決勝大会への山口県代表チームを選出すること。  
1部リーグの後期終了時点で、中国サッカーリーグ入りの意思を持つ上位のチームから出場権を与える。棄権すれば下位チームへ出場権は移るが4位までとする。
- (3) 次年度の全国社会人サッカー選手権大会中国地域予選会の山口県代表チームを選出すること。  
中国リーグ所属チームを優先し、1部リーグの上位のチームから出場権を与える。棄権すれば下位チームへ出場権は移るが4位までとするが、昇格した場合に中国リーグで活動する意思の有るチームとする。
- (4) 次年度の山口県サッカー選手権大会の社会人代表チームを選出すること。  
1部リーグの優勝チームに出場権を与え、該当チームはその義務を負う。

### 2 名 称 山口県社会人サッカーリーグ（以下「県リーグ」という。）

### 3 主 催 一般社団法人山口県サッカー協会（以下「県サッカー協会」という。）

### 4 主 管 一般社団法人山口県サッカー協会 第1種（社会人）委員会 （以下「県1種社会人委員会」という。）

### 5 期 間 2026年4月1日～2026年11月 8日 ※天候不良等による順延であっても2026年11月22日迄とする。

### 6 運 営

日程、会場、運営担当チーム等の実務的な試合運営は、各部・ゾーンごとに運営委員会で決定する。  
試合日の変更は、気象条件及びグラウンド管理者の使用不可判断を除き、原則として認めない。  
なお、変更のある場合は、速やかに当該運営担当者が各部のリーグ委員長及び県1種社会人委員会委員長へ報告すること。

### 7 参加資格

- (1) 日本サッカー協会及び県協サッカー会に第1種登録した正加盟チームであること。
- (2) 選手は(1)に登録され、試合時に電子選手証または、登録選手一覧を出力した用紙を持参すること。いずれも写真の貼付が必要。  
なお、貼付する写真については、本人確認ができるよう、カラー及び鮮明なものとする。
- (3) 電子選手証または、登録選手一覧を保持している選手であること。
- (4) 公認審判員3名以上を有するチームであること。（内1名は3級以上であること）
- (5) 県リーグ要項を遵守するチームと選手、チーム役員（以下「役員」という。）であること。

### 8 リーグ編成

- (1) 県リーグは3部制とし、各部のチーム数の構成等は、原則、下記のとおりとする。
  - ① 1部リーグは、7チーム編成とする。
  - ② 2部リーグは、12チーム編成とし、前期についてはチーム所在地により東西に分け2ゾーンとする。なお、ゾーンの編成は6チームを基本とし、2026年度は以下の編成とする。
    - ・ 2部前期 … Aゾーン（東）：6チーム、Bゾーン（西）：6チーム
    - ・ 2部後期 … AとBゾーンの上位：6チーム、AとBゾーンの下部：6チーム
  - ③ 3部リーグは、5チーム編成とする。

## 9 競技方法

(1) 各部の競技方法は下記のとおりとする。

① 1・3部リーグは前期、後期の総当り戦とする。

② 2部リーグ前期は、A・B各ゾーンにより総当り戦を行い1位から6位の順位を決定する。

後期は、前期各ゾーンの1位から3位の6チームを上位グループ、4位から6位の6チームを下位グループとし、順位を決定する。

なお、後期上位・下位グループともに、前期同ゾーンのチームとは対戦せず、前期の当該チームの対戦成績（勝点・得失点）を加算し、上位グループについては2部1位から6位の順位を決定するとともに、下位グループについては2部7位から12位の順位を決定する。

③ 2部の後期日程は、前期終了後、加盟チーム代表者参加の下、調整会議を開催し決定する。

(2) 2部の後期日程は、前期終了後、加盟チーム代表者参加の下、調整会議を開催し決定する。

・2025年度後期調整会議予定

2部：6月21日(日)／会場：おのサンサッカーパーク・時間未定(クラブ選手権後)

## 10 競技規程

(1) 国際サッカー評議会制定の「該当年サッカー競技規則」及び日本サッカー協会制定の「規約・規程」による。

(2) 県サッカー協会に2026年3月5日(木)までにエントリー表を提出すること。

(3) エントリーの追加は随時受け付ける。日本サッカー協会のKICKOFFによる追加登録手続き及び追加登録料納入を行った上で、出場予定試合日(試合日は起算日0日)の9日前までに県サッカー協会にエントリー追加・変更届を協会事務局へFAXにより提出(下記参考例)すること。

なお、追加選手等の試合への出場が可能となるのは、「①電子選手証または登録選手一覧」が保持でき、県サッカー協会事務局から県リーグ委員長経由で団体の長宛ての「②山口県サッカーリーグのエントリーについての連絡文書」が届き、①及び②が対外的に提示(試合会場へ持参)できるようになった時点以降とする。尚、②は、県サッカー協会のHPに掲載する。

### 【参考例】

・5月16日(土)が出場予定試合日の場合・・・・・・ 提出期限5月7日(木)

・5月24日(日)が出場予定試合日の場合・・・・・・ 提出期限5月15日(金)

(4) 選手交代は競技開始前までに、1部は登録した最大7名の交代要員の中から、審判の許可を得て5名以内、2部・3部は登録した最大9名の交代要員の中から、審判の許可を得て9名以内まで交代することができる。

なお、試合中の交代回数は、下記のとおりとする。

① 1部は各チーム最大3回とする。加えて、ハーフタイム時にも交代することができる。なお、両チームが同時に交代した場合は、各チームそれぞれ3回のうちの1回の交代回数を使ったとして数える。

② 2部・3部はハーフタイム時を含め各チーム最大9回とする。なお、両チームが同時に交代した場合は、各チームそれぞれ9回のうちの1回の交代回数を使ったとして数える。

(5) 脳振盪によりプレーの続行が困難な負傷等の選手が発生した場合は、救済し脳振盪による交代(再出場なし)の追加を下記の通り適用することが出来る。

① 1試合において、各チーム最大1人まで。ただし、交代の追加は1部に適用とする。(2部と3部では9名全員が交代するので追加できないことから適用外である。)

② 「脳振盪による交代」は、その前に何人の交代要員が使われているかにかかわらず、行うことが出来る。

③ 「脳振盪による交代」が行われたならば、相手チームは、「追加の交代」を使うことが出来る。

④ 脳振盪での交代は、「脳振盪を受傷した、またはその疑いが生じた直後」や「フィールド上での診断、またはフィールド外での診断後」や「選手がその時より前に診断を受け、競技のフィールドに戻った場合を含め、それ以外で脳振盪を受傷した、または疑われる時」はいつでも使用できる。

- ⑤「脳振盪による交代」は、通常の交代用紙に「脳振盪(のうしんとう)」と記載して、主審並びに運営担当者に知らせる。運営担当者から相手チームに脳振盪による交代であることを知らせる。
- ⑥ 交代枠を使い切っている場合には、交代した選手が代わって再度出場することができる。
- ⑦ 脳振盪を起こした、またはその疑いで交代した選手は、この試合に出場することはできない。  
また、出来る限り更衣室や医療施設にチーム関係者が付き添わなければならない。
- (6) ベンチに入ることのできる人数は、1部については交代要員7名、役員6名(含む通訳)、2部・3部については交代要員9名、役員6名(含む通訳)とし、メンバー提出用紙にて特定する。役員の中からその都度ただ1人の者のみが戦術的指示を伝えることができる。この1人は特定の1人に限定される必要はない。
- (7) 外国籍選手は、各試合3名までエントリーを認め、3名が出場できる。
- (8) 県リーグは、日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき本大会に係る懲罰問題を処理するため、県リーグ規律委員会を設置し、同懲罰規程に基づき処分、懲罰を決定する。
- (9) 主審により退場を命じられた選手及び役員(以下「選手等」という。)は、自動的に次の県リーグ1試合の出場停止を受ける。
- (10) 警告による退場処分
- ① 県リーグにおいて、警告の累積が、1部リーグ3回、2・3部リーグ2回に及んだ選手等は、次の県リーグ1試合の出場停止処分を受ける。
- ② 同一試合で警告が2回となり退場処分となった選手等は、次の県リーグ1試合の出場停止処分を受ける。
- ③ 上記①・②における警告は、試合出場停止により処分されたものとし、累積されない。
- ④ 累積された警告での出場停止処分及び警告の累積は、県リーグ終了時をもって効力を失う。
- (11) 出場資格の無い選手が試合に出場した場合の懲罰は、日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき県リーグ規律委員会が決定する。  
なお、出場資格の無い選手の出場が試合中に判明した場合は、その時点で当該試合は没収され、また、既に行われた試合については原則として可能な限り遡って適用する(これらの場合においても当該チームにとって、0対3での敗戦扱いよりも実際の試合結果における得失点差のほうが不利となる場合は、実際の試合結果を有効なものとする。)

## 11 試合時間

- (1) 各部リーグ戦の試合時間は、下記のとおりとする。
- ① 1部は90分ゲームとし、延長戦等を行わない。
- ② 2部は90分ゲームとし、延長戦等を行わない。
- ③ 3部は90分ゲームとし、延長戦等を行わない。

## 12 順位決定

- (1) 順位の決定方法は、下記のとおりとする。
- ① 勝点の多いチームを上位とする。  
勝：3点、引き分け：1点、負：0点、不戦勝の勝点：3点、不戦負の勝点：-3点
- ② 勝点と同じ場合は得失点差の多いチームを上位とする。  
不戦勝の得点：3点 不戦負の得点：0点
- ③ 得失点差が同じ場合は総得点の多いチームを上位とする。
- ④ 2部後期については、以下のとおりによりグループ分けする。
- ・ 2部後期各位(上位・下位)グループについては、前期の各ゾーンのリーグ戦順位に基づき、前期同ゾーンチームの対戦成績(勝点・得失点)を後期勝点に加算し、グループ内で勝点が多いチームを上位とする。
- ⑤ リーグ戦において順位が決定しないときは、抽選とする。  
※ 上級の大会に出場する権利を決定する場合も同様とする。

### 13 入 替

- (1) 各部の次年度の昇格及び降格は、原則、下記のとおりとする。ただし、中国リーグへの昇格がある場合は、そのチーム数に応じて各部の昇格・降格を決定する。
  - ① 1部の7位は自動降格し、2部(後期)の1位は自動昇格とし、1部の6位と2部(後期)の2位による入替戦を行う。
  - ② 2部(後期)の1・2位は自動降格し、3部の1位は自動昇格とし、2部の1・2位(後期)と3部の2位による入替戦を行う。
  - ③ 入替戦は、11月29日(日)におのサンサッカークラークにて1・2部及び2・3部の入替戦を行う。
  - ④ 出場選手は、各リーグの最終節までに登録されており、入替戦に選手証を持参できることとする。
  - ⑤ 入替戦90分ゲームとし、勝敗が決しない場合には30分の延長戦を行うがPK戦は行なわない。延長戦にて勝敗を決さない場合には、上位リーグのチームの残留とする。
  - ⑦ 入替戦のエントリー表は、11月16日迄に県サッカー協会に提出することとする。
  - ⑧ 尚、その他、入替戦の運営に関することは「入替戦の要項」定め疑義が生じた場合は、県1種社会人委員会において協議の上、決定する。
  - ⑨ 中国リーグへの昇格チームがある場合には、入替戦は実施せず、上記上位リーグのチームは残留とし、上記下位リーグのチームは自動昇格とする。

### 14 審判員

- (1) 審判員は公認審判員により主審及び副審の相互審判とする。  
但し、1部において、県サッカー協会審判部より主審が派遣されることがある。
- (2) 主審は3級以上の公認審判員、副審は4級以上の公認審判員であること。
- (3) 審判員は審判服を必ず着用すること。(黒のシャツ、ショーツ及びソックス、ワッペン等)
- (4) 審判員は審判証を携行し、運営本部役員に提示すること。

### 15 ユニフォーム

- (1) 日本サッカー協会のユニフォーム規程(2025年4月17日改正)に準拠したユニフォームを着用すること。
- (2) 留意事項
  - ① 試合で着用するユニフォームは、エントリー表により登録する。登録した背番号のユニフォームを着用すること(登録した番号は、選手固有のものであるので、その番号以外のユニフォームでの出場は認めない)。また、エントリー表の提出後の一切変更を認めない。  
但し、県リーグを抹消した選手の再エントリーにおいては、番号の変更は可であるが、再エントリーした選手の警告の累積や退場処分に関してはチームにて管理し、抹消後の県リーグの試合には出場できない。
  - ② ユニフォームの色はF・P・GKとも審判員が通常着用する黒と明確に判別できるものであること。また、正の他にこれと異なる色のユニフォームを準備すること。
  - ③ ユニフォームのデザイン、ロゴ等がチーム内で異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
  - ④ ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
  - ⑤ アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用すること。
  - ⑥ アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用すること。

## 16 その他

- (1) 県リーグに参加するチームは、それぞれに3級以上の公認審判員を1名以上、4級以上の公認審判員を2名以上の3名以上の公認審判員を所属させないと参加できない。(2005年12月15日(財)日本サッカー協会 通達「公式試合における審判員の資格」について)による)
- (2) 試合開始時にチームメンバーが7名未満の場合は没収試合とし、当該チームの棄権とする。
- (3) メンバー提出用紙は試合開始50分前までに本部に提出すること。また、Kick-off 時間(前後半共に)を厳守して円滑な運営に協力すること。
- (4) メンバー表提出時に本部席において、両チーム監督・審判員及び運営責任者が立会のもとユニフォームの最終決定を行なう。
- (5) 大会期間中の負傷及び、事故の処理は当該チームが負うものとし、スポーツ傷害保険等に参加することが望ましい。
- (6) 電子選手証または、登録選手一覧は顔写真を貼付した紙に印刷されたものとする。なお、顔写真の免許証等での代用及びスマートフォンやタブレット等での選手証の提示表示は認めない。
- (7) 参加料は1部リーグ55,000円(税込)、2・3部リーグは33,000円(税込)を下記指定の口座に振り込みとする。  
参加料振込期日：2026年3月5日(木) 午前中  
振込先：山口銀行 山口支店 普通 5088138  
口座名：一般社団法人 山口県サッカー協会 1種社会人  
※ 振り込み名は、チーム名でお願いします。
- (8) 参加調査票は2026年2月16日(月)正午までに県サッカー協会事務局に提出すること。
- (9) その他、運営に関する疑義が生じた場合は、県1種社会人委員会において協議の上、決定する。